

「英語Ⅱ」学習指導案

群馬県立中央中等教育学校
教諭 津久井 貴之

1 日 時
平成24年2月27日(月) 第4限(11:40~12:30)

2 学 級
普通科 第5学年1組(少人数津久井クラス)(16名)

3 学 級 観
5年1組は文系クラスで、男子12名、女子20名で構成されている。本校外国語科では、1学級を等質少人数に分け、2クラス同時に展開しており、本少人数クラスは男子6名、女子10名である。英語の習熟度に差は大きいですが、意欲・態度面では前向きに英語学習に取り組む生徒が多い。その一方、進路や学習全般に対して悩みや課題を抱えている生徒も少なくない。

授業では、6年間を通してグループ・ワークやペア・ワークを積極的に取り入れており、互いに学び合う姿勢作りに重点を置いている。

4 教 材

(1) Steve Jobs' Stanford Commencement Address

(<http://news.stanford.edu/news/2005/june15/jobs-061505.html>)

(2) 上記(1)の映像資料

5 単元の目標

スティーブ・ジョブズのスタンフォード大学におけるスピーチ(Stanford University's 114th Commencement on June 12, 2005)、本人の生い立ちや経歴を様々な英文資料や映像を通して理解するとともに、次年度に最上級生となる生徒一人一人が、自分の進路選択や日々の生活と照らし合わせて共感したり考えさせられたりしたことを英語で伝え合うことができるようになる。

6 指導計画

指導内容	配当時間
スティーブ・ジョブズについてのオーラル・イントロダクションを聞き取る。また、スタンフォード大学でのスピーチ映像を視聴し、その要旨をグループで確認し合う。	1時間
スピーチ原稿を読み、グループで要旨を確認するとともに、スピーチに含まれている3つのメッセージを読み取る。	1時間
スピーチに含まれている3つのメッセージを英語で要約する。また、スティーブ・ジョブズによる製品のプレゼンテーションの映像を見たり、本人を特集した記事を英文で読んだりして、製品の特徴やプレゼンテーションの工夫、人生観を読み取る。	1時間
スピーチ原稿の中から共感したり印象に残ったりした一節を選んで紹介するとともに、選んだ理由や生徒自身の生活と照らし合わせて感じたことを英語で書き、発表し合う。手順は以下の通り。 ① 書いた英文を教師が推敲し、個人やペアで発表する練習を行う。 ② 教師の前で発表練習を行い、アドバイスを受ける。 ③ グループ内で一人ずつ発表を行う。 ④ グループ内で互いの原稿を読み合い、内容に関わって感想や共感した部分などを50語程度の英語で書く。	4時間 (本時3時間目)

7 本時の目標及び評価規準

(1) 目標

ア 感想や自分の考えなどを、相手が理解しやすいように工夫しながら話す。

- イ 既習の言語材料を用い，教材内容を紹介したり感想を伝えたりするとともに，自分の進路選択や学校生活について考えていることを伝える。
- ウ 他生徒の発表を聞いて正しく理解し，感想を伝える。
- エ 既習の言語材料に関する用法や語法を理解する。

(2) 評価規準

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
感想や自分の考えなどを，相手が理解しやすいように工夫しながら話している。	既習の言語材料を用い，教材内容を紹介したり感想を伝えたりするとともに，自分の進路選択や学校生活について考えていることを伝えることができる。	他生徒の発表を聞いて正しく理解し，感想を伝えることができる。	既習の言語材料に関する用法や語法を理解している。

8 本時の展開

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な 評価の観点	評価 方法
4分	1. Warm-up ー英英辞典クイズ	・グループで英英辞典から語の定義を口頭で与え，聞き手が答えを当てる。	・話し手の英語をきちんと聞いたり，聞き手に伝えるよう明瞭に定義を読んだりするように伝える。		
10分	2. Pair Practice ーペアでの発表練習 (Steve Jobsのスピーチで印象に残ったこと＋自分の考え)	・ペアで発表練習を行う。 ・聞き手は話し手に対し，伝え方や音声表現などについてアドバイスをする。	・練習のポイントとして，以下の点を示す。 ①引用したスピーチの一節が聞き手に分かるようにはっきりと伝える。 ②原稿通りの英語でなくとも，既習表現を駆使して伝える。 ③聞き手とアイ・コンタクトを取る。	原稿から目を離すなどの工夫をしながら練習活動に取り組んでいるか。 (①) 既習表現を正しく用いて表現しているか。 (②, ④)	活動の観察 活動の観察及び発表原稿
25分	3. Group Activity ーグループで各自のスピーチ発表と聞き手の感想	・生徒各自がグループ内で発表し合う。	・1グループ4人で，前時までの練習グループと本時の発表グループのメンバー構成を変える。 ・発表の中心となる生徒を各グループに配置することで，円滑にグループ活	リズムや区切りを意識して話しているか。 (②)	活動の観察

		<ul style="list-style-type: none"> 各発表の後に、聞き手の生徒が英語で一言感想を伝える。 	<p>動が進むようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前アンケート調査に基づいて発表グループのメンバーを構成し、進路や学校生活について英語で語り合うことができるようにする。 代表して発表する生徒を、事前準備や発表練習、発表の様子から選ぶ。 	<p>相手の伝えたい内容を正しく理解し、発表に対する感想や意見などを英語で簡潔に伝えているか。</p> <p>(②, ③)</p>	活動の観察
8分	4. Presentation —代表生徒による発表と感想	<ul style="list-style-type: none"> 代表生徒がクラスの前で発表する。 聞き手の生徒は感想を英語で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表生徒に発表させることで、聞き手の生徒には英語で自己表現するモデルにさせる。 代表生徒の発表に教師がコメントし、代表生徒の今後の英語学習への意欲を高める。 代表生徒に対して多くの生徒が感想を伝えるよう、発表前に指示する。 	<p>相手の伝えたい内容を正しく理解し、発表に対する感想や意見などを英語で簡潔に伝えているか。</p> <p>(②, ③)</p>	活動の観察
3分	5. Consolidation —発表に対する教師のコメントと次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> 本時の発表全体に対する教師のコメントを聞く。 次時の活動内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師自身が生徒の発表から感じたことを率直に伝えることで、英語を通して自己表現することの大切さに気付かせる。 次時の活動内容（発表終了後に他のグループの発表原稿を読み合い、感想や共感を得た部分について英語で書く）を伝える。 		
授業後			<ul style="list-style-type: none"> 各生徒の発表内容に関するコメントを書き、今後の英語学習への意欲が高まるようにする。 		